

2014年2月1日発行

Vol.68

ろ ん ど

長崎県音楽連盟事務局

〒850-0056 長崎市恵美須町4-5

NBC第3ビル2F

Tel.&Fax095-820-1081

ホームページアドレス <http://www.n-rond.jp>メールアドレス nma@onyx.dti.ne.jp

～ながさき音楽祭2013を振り返って～



海外はもちろんですが、日本国内でも様々な音楽祭が各地で開催されています。ジャンル、開催規模、歴史、実施時期、そして目的もそれぞれです。では、その中で私たちの「ながさき音楽祭」は、どのように位置づけられているのか、「日本全国の音楽祭」というキーワードで検索してみると、ながさき音楽祭は、市民参加型音楽祭に分類されていました。7年目を迎えた音楽祭、「音楽で街を彩り、地域の特色をいかした様々な演奏会を多彩な会場で開催する」というのが目的の一つです。その意味では、音楽連盟が実施主体として関わった、「たのシックフェスティバル」も、「長崎の唄・音」も、「マダム・バタフライフェスティバル」も十分な成果を上げたのではないかと思います。

11月2日～4日の3日間開催された、「たのシックフェスティバル」では、18のワークショップ、23のコンサート等に、延べ3084人の来場者がありました。21.5%の回収率(昨年の約2倍)だったアンケート結果を見ると、89%の方から、とても楽しかった、あるいは楽しかったという評価を得ました。ブリックホールの秋の音楽イベントとして定着してきたと思われます。

「長崎の唄・音」は、今までのブリック大ホールから、国際

会議場へと会場を変更し、11月2日、3日に分けそれぞれテーマを明確にして開催しました。この手の演奏会では、プレイガイドではなかなかチケットが出ませんが、何と2日間で117枚が売れました。当日券の62枚を合わせると179枚。関係者の皆様の協力があったのですが、一般市民の皆様にもこのイベントがすこしずつ定着してきたのでしよう。

イタリアをテーマにした、マダム・バタフライフェスティバルについては、次ページで松川理事長が書かれていますので、そちらをお読み下さい。全国で開催されている音楽祭を見ると、国内外の著名な演奏家を招いてのクラシック音楽祭、世界の若手音楽家の育成を目的とした国際教育音楽祭もあり、九州でも歴史のある霧島国際音楽祭は、国内外の著名な音楽家たちによる約2週間のコンサートと講習会を毎年実施し、高い評価を得ています。「ながさき音楽祭」のもう一つの開催目的である、「県内外の演奏家や国内外のトップアーティストの参加により繰り広げられる素敵な演奏会」を達成するために、今後音楽連盟の役割を、皆様と共に考えて、そして行動していきたいと思えます。

(運営委員長 堀内伊吹)